社会教育だより カケハシ

下北教育事務所（TEL22-1351）

令和元年 12 月号

社会教育だより「かけ橋」はバックナンバーも含めて下北教育事務所のホームページでご覧になれます。

下北教育事務所 QRコード

ご報告

今月号では10月に行った４つの研修会等を紹介します！

放課後子ども総合プラン指導員等研修会（後期）
～１０月１６日（水）むつ来さまい館～

○講義：「放課後子ども総合プランの概要について」
講師：青森県教育庁生涯学習課
主幹　田中　智美　氏
○演習：「豊かな体験・活動プログラムについて」
講師：青森県教育庁生涯学習課
社会教育主事　今　知義　氏

【講師から】
放課後子ども総合プランが目指す居場所とは
○ほっと安心できる 居場所
「帰ってきた」「また行きたい」と思えるような、ほっと安心できる居場所
○わくわく楽しい 居場所
「楽しい」「やってみたい」と感じる、わくわく楽しい居場所
○きちんとルールを守る 居場所
ルールをきちんと示し、守ることの大切さを理解させる居場所
○にっこりみんながつながる 居場所
子どもも地域の人も、にっこりとつながりあえる居場所

【参加者の声】
・国の取組等、学び直しのよい機会になった。
・時間や材料がかからず、すぐできる遊びがよかった。
・さっそく子どもたちと一緒に遊びたい。

管内生涯学習・社会教育関係職員研修講座
～１０月１７日（木）むつ合同庁舎～

○講義：「企画者の想いが伝わるチラシづくりのテクニック」
○演習：「チラシづくりの実際」
講師：パシオンＴＯＫＹＯ
センター長　坂田　静香　氏

【講師から】
○魅力的なキャッチコピーのテクニック
・ゴールが見える、対象者がわかる断定形もしくは体言止め
例）「パパの手で作る　赤ちゃんのハッピータイム♪」
・子ども向け、親子向けの企画には楽しそうなタイトルを
例）「親子でつくろ！ゲキうま　クリスマス料理」
・講師のセールスポイントを入れ込む
例）「地元で評判のドクターから学ぶ健康講座」
○もっとも大切なことは・・・「まずは企画ありき！」
・対象者を徹底的にしぼる
・対象者の心に響くゴールが見えるタイトル
・対象者の努力と熱意！

【参加者の声】
・仕事に役立つことばかりで、とても参考になる研修内容でした。
・チラシ作成の技術の他、企画が大事である事を学び、今後の業務に役立てたいと思いました。
・企画をチラシ等で魅力的に見せることばかり考えていたので、よい企画ありきというのを聞き、目からウロコでした。これからは毎年実施予定のマンネリ化した企画をもう少し見直していかなければと思いました。

下北地方文化財審議委員連絡協議会後期研修会
～１０月１８日（金）東通村民俗歴史資料館～

下北地域の貴重な文化財について、活発な話合いが行われました。

【第１部会（歴史・考古）】
話　　題：「風間浦村遺跡発掘調査の概要」
話題提供者：風間浦村文化財保護審議会
会長　阿部　利行　氏

【第２部会（民俗）】
話　　題：「佐井村を訪れた人々」
話題提供者：佐井村文化財審議会
委員　渋田　昌平　氏

【第３部会（自然）】
話　　題：「釜臥山周辺の自然調査概要（鳥類について）」
話題提供者：むつ市文化財保護審議会
委員　阿部　誠一　氏

下北地区社会教育研究会むつ大会
～１０月２４日（木）下北文化会館～

むつ市の活動や研究成果の発表、下北地域の社会教育の課題について熱心に研究協議が行われました。

【講演１】
演題：「北の防人大湊ガイドグループ　ボランティア活動について」
講師：北の防人大湊ガイドグループ
沼田　文子　氏　・　伊藤　道郎　氏

【講演２】
演題：「日本初の公民館と後藤新平」
講師：むつ市社会教育委員の会議
議長　星　和夫　氏

【研究協議】
話　　題：「むつ市の文化財（無形）と地域の文化活動」
話題提供者：むつ市社会教育委員
木村　昭夫　氏